



## Beyond KUSS, 2023 !!

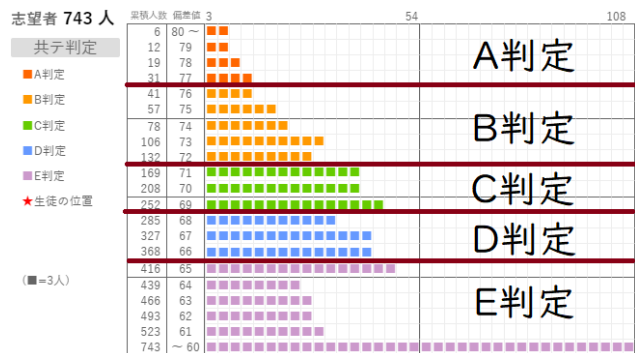


### 共通テスト模試個人成績票

まもなく、共通テスト模試の個人成績票を返却します。最初に注目するのはどこでしょうか。採点結果、偏差値、合格可能性判定、個人成績票については各業者が工夫して作成しています。注意事項をよく読み、今後の学習を考える材料にしてください。A判定に喜ぶ、E判定に落ち込むというだけで終わることのないよう、十分に注意しましょう。

今回の模試、42万人弱が受験しています。しかし、900点満点で受験しているのは、25万人弱です。

右図はある募集単位の度数分布表です。このコースは301人を募集します。今回の模試で第1志望としている人は743人でした。合格可能性判定後との人数は、A:31、B:101、C:120、D:116、E:375です。



このコースを第1志望としている人の約半数はE判定です。実はE判定のなかでも様々なレベルがあり、E判定とひとくくりにはできません。自身の現状を冷静に分析できる人が合格に近づいていきます。そのアドバイスをできる先生がみなさんを合格に導いてくれます。

左図は受験産業が合否追跡調査を行い、模試の判定との関係を示したデータです。追跡調査で合格を確認できた人のうち、夏休み前の模試でE判定だった人が12%を占めます。

個人成績票の合格可能性判定を眺めて、一喜一憂するだけで終わる人は残念ながら合格に近づくことはできません。合格可能性判定の記号だけでみなさんに出願校の変更をささやく先生は、合格に導いてくれることはありません。

### 再び「自己採点」

No\_9で、共通テスト模試と共通テストの自己採点について次のように紹介しました。

自己採点することで、自身の理解の度合いを把握し、今後の学習に役立てることで、共通テスト後の自己採点は、共通テスト終了段階での自分の位置を把握し、二次試験に向けて必要な学習を考えるための材料になります。

今回の模試で正確に全科目の自己採点ができていた人は5名でした。900点満点で自己採点の方が高かった人は62人、最大値は27点、低かった人は43人、最大値は43点。科目ごとでは一致していなくても900点満点では正しい人もいます。残念ながら、自己採点はまだまだ不十分です。

自己採点結果と個人成績票を夏季休業中の学習を考える材料にしてください。夏季休業中は、基礎・基本を強化するための絶好の期間です。無駄遣いはもったいないです。

<保護者の方々にも読んでいただきたいよう>

『Beyond KUSS, 2023!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。

## 共通テスト模試度数分布

## 省略

「上回り率」は、 $(\text{本校平均} - \text{全国平均}) \div \text{全国平均} \times 100$  で算出します。8・7回生と比較し、上回り率が低くなっている科目が大半です。8・7回生と比較して、9回生の以下の特徴が要因として考えられます。

- 1 各科目の基礎・基本の理解が十分ではない。そのため、9回生と同様の大学を目指す多くの受験生が正解する問題で失点している。
- 2 中途半端に難問に取り組んでいるが、1の状況があるため、難問も得点することができない。

合格するために満点である必要はありません。合格に必要な得点に到達することが重要です。そのためには確実に得点できる分野を増やすことが大切です。教科書レベルの問題で得点できていない人、この夏が最後のチャンスです。基礎・基本の強化に真剣に取り組みましょう。附属の生徒、コツコツと勉強するのが苦手な人が多いです。それが、実力を発揮できない最大の要因です。体調管理に気をつけ、夏の学習に取り組みましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2023!!』など進路課が発信する情報の一部をHPに掲載しています。